

## A-16 長期人工呼吸管理患者の意識調査について

北里大学東病院MEセンター部

瓜生伸一

北里大学病院救命救急センター

堤 邦彦

北里大学病院MEセンター部

廣瀬 稔

北里大学医学部麻酔科

渡辺 敏

長期人工呼吸管理患者に対し、人工呼吸器への依存性から発生する様々な問題点を具体化するためにアンケート調査を実施した。

### 1. 対象患者

対象患者は、1年以上継続で人工呼吸器を使用している神経疾患及び呼吸器疾患患者男性13名、女性9名の22名で、性別、年齢別、使用期間別に分類し、次のような結果が得られた。

### 2. アンケート調査結果

①今までに人工呼吸器使用中に不安を感じたことがありますか？については、不安を感じたことがあると回答した患者が68%みられた。その不安内容は、途中で止まることはないか、医療従事者がすぐに対応してくれるか、アラームが鳴らない、人工呼吸器の取り扱いに慣れていない、夜間に異常が起きた場合という内容になっている。

②現在使用している人工呼吸器に対して不満はありますか？との設問では、32%、7名の患者が不満を持っていると回答している。これを年齢別及び使用期間別にみると、高齢者で使用期間の短い患者に不満の回答が多く、その内訳は、騒音、機能、大きさ、呼吸回路などについて不満がある結果となった。また、騒音に関しては、自分は気にならないが周りの患者が迷惑になっているのではないかとという周囲を気遣う意見もあった。

③人工呼吸器や呼吸回路の交換に関しての設問では、人工呼吸器や呼吸回路の交換に際し、交換日の前日から息苦しくなったり眠れないときもある、イライラするといった予期不安を抱えている患者は18%あった。また、交換時において息苦しさを感ずるとの意見が、32%にみられた。そのため、これらの患者は、精神的な不安が多く存在するものと考えられた。

④使用中の人工呼吸器の保守点検については、安心できるため必要とする回答が多く、82%あった。しかし、異常があったときだけでよいなどの小多数意見もあるが、これらの意見を見ると、人工呼吸器の使用経験が長い患者に多いことが分かった。そのため、これらの患者は、長年の使用経験から人工呼吸器を自己管理できるものと考えられた。

⑤人工呼吸器を点検のために交換することに

なった場合、希望する人工呼吸器は、現在使用中の機器または同じ種類の機器での交換を希望する意見が性別、年齢、使用期間に関係なく多い。その理由としては、違う種類の人工呼吸器だとすぐに合うかどうか不安という意見が一番多く、次いで今まで使い慣れた人工呼吸器がよい、同じ種類の人工呼吸器でも違いがあり息苦しくなるなどがあげられた。また、④及び⑤から推測すると、保守点検については肯定的だが交換に対する不安も存在すると思われた。

⑥呼吸回路に関しては、今までに呼吸回路で不都合が生じたという意見が多いが、その理由として、呼気弁があわなくて息苦しくなる、呼吸回路の長さ、重さが気になる、呼吸回路接続部の外れ、呼吸回路内の水分の貯留などがあげられた。

### 3. 考察

長期人工呼吸療法中の患者に対するアンケート調査により様々な問題点が具体化された。今後、その対策として次のようなことが必要と考えられた。

#### 1) ソフト面

長期人工呼吸管理患者、特に高齢者や使用期間の短い患者は、精神的な不安が多くみられるため、コミュニケーションを良くして患者との信頼関係を確立するとともに頻回にベットサイドを訪れて不安を解消させることが重要と考えられた。また、同一スタッフにより管理を行うなどサポートシステムの充実化が重要である。

使用期間が長い患者においては、保守管理に対して否定的な意見が多いが、それは、長年の経験から自己管理できるものと考えられる。そのため、患者及び家族に機器管理法を指導し、参加させることにより、自己管理させることも必要と考える。また、保守点検時間を患者の視覚に訴えて、日頃から保守点検を納得させることも一つの方法と考えられた。

#### 2) ハード面

機器や付属品を交換することで違和感を訴え、また、実際に交換する場合には、同じ機器または同じ種類の機器を希望する患者が多いことから、機器及び付属品の品質の均一化を図る必要性がある。また、メンテナンスフリー機器の開発も必要と考えられた。